

2015年3月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社ヴィンクス
2014年11月21日

JASDAQ

証券コード：3784

1. 2015年3月期 第2四半期 決算概要

- 決算のポイント . . . P 4
- 2015年3月期 第2四半期 業績 . . . P 5
- 四半期別業績の推移 <連結> . . . P 6
- 分野別受注高・受注残高の推移 . . . P 7
- 分野別業績 . . . P 8
- 財政状況（前期末比較） . . . P 12
- キャッシュ・フローの状況 . . . P 13

2. 基本戦略及び直近のトピックス

- 4つの基本戦略 . . . P 15
- 各戦略別トピックス . . . P 16

3. 2015年3月期の業績予想並びに配当予想について

- 2015年3月期 業績予想（連結・個別） . . . P 18
- 中期数値フレーム . . . P 19
- 当期及び次期の配当見通し . . . P 20

1. 2015年3月期 第2四半期 決算概要

<上期総括>

連結売上高は、137億50百万円（前年比101.4%）になりました。

売上高につきましては、大手総合小売業グループへの更なる深耕が奏功したことなどにより、前年同期を上回る結果となりました。

なかでも、海外子会社につきましては、引続き、大手総合小売業グループのアセアン地域出店に対して、全面的なIT支援を展開するなど、着実な実績をあげており、また、プロダクト分野では、タブレットPOS「ANY-CUBE®+1」が大手メガネチェーンやドーム運営事業会社で採用されるなど、順調に推移いたしました。

営業利益・経常利益・四半期純利益は、全て前年同期を上回りました。

経営統合による業務部門の稼働率が向上したことや、経営管理体制の更なる合理化と効率化を推進したことなどにより、事業全体におけるコスト削減が図られ、前年同期を上回る結果となりました。

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

	実績	前年差	前年比
営業利益	8億1百万円	+26百万円	103.4%
経常利益	9億98百万円	+279百万円	138.8%
四半期純利益	6億6百万円	+196百万円	147.8%

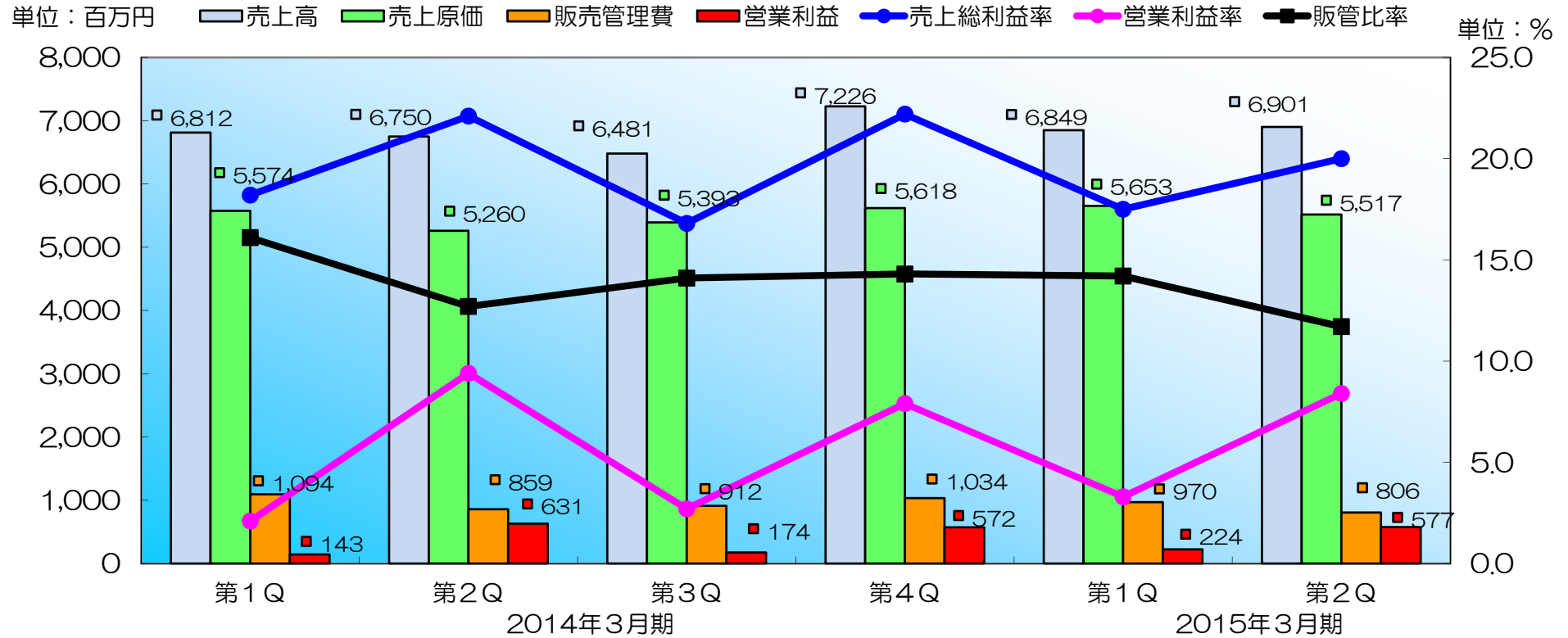
2015年3月期 第2四半期 業績



単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

	上期		開示対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	13,750	-	13,900	98.9%	▲ 149	-	13,563	101.4%	187	-
売上総利益	2,579	18.8%	2,820	91.5%	▲ 240	20.3%	2,728	94.5%	▲ 149	20.1%
販売管理費	1,777	12.9%	2,030	87.6%	▲ 252	14.6%	1,953	91.0%	▲ 175	14.4%
営業利益	801	5.8%	790	101.5%	11	5.7%	775	103.4%	26	5.7%
経常利益	998	7.3%	790	126.4%	208	5.7%	719	138.8%	278	5.3%
四半期純利益	606	4.4%	470	129.0%	136	3.4%	410	147.8%	196	3.0%

四半期別業績の推移 <連結>



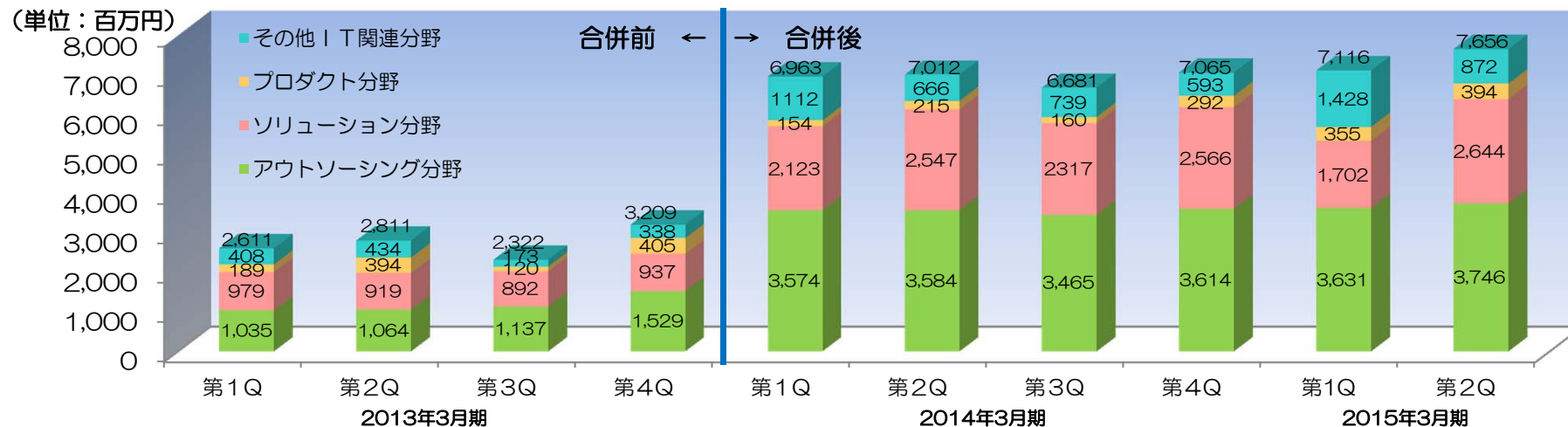
単位：%

科目	2014年3月期				2015年3月期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q
売上総利益率	18.2	22.1	16.8	22.2	17.5	20.0
販管比率	16.1	12.7	14.1	14.3	14.2	11.7
営業利益率	2.1	9.4	2.7	7.9	3.3	8.4

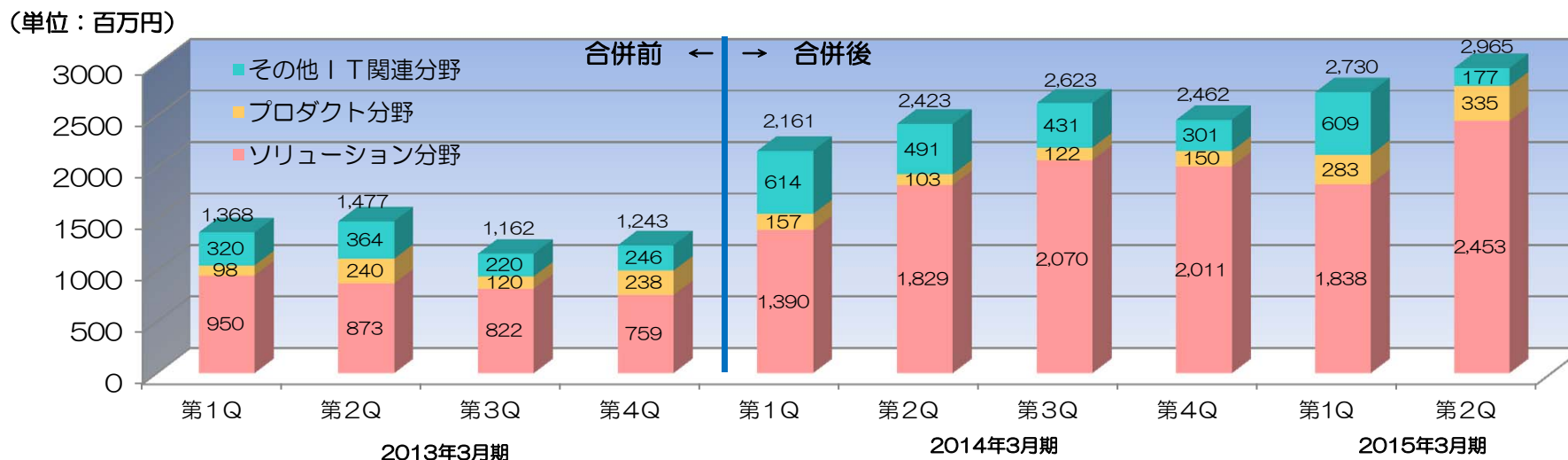
分野別受注高・受注残高の推移



<受注高の推移>



<受注残高の推移>



分野別業績 — アウトソーシング分野の状況



アウトソーシング分野

(システム運用・管理サービス、保守、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等)

- 売上高につきましては、計画値は下回りましたが、大手特定顧客のシステム運用等が増加し、前年値は上回りました。
- 営業利益につきましては、原価構造の見直しにより、計画値、前年値共に上回る結果となりました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	7,331	53.3%	7,503	97.7%	▲ 171	54.0%	7,089	103.4%	242	52.3%
売上総利益	1,331	18.2%	1,403	94.9%	▲ 71	18.7%	1,273	104.6%	58	18.0%
営業利益	414	5.7%	392	105.8%	22	5.2%	313	132.4%	101	4.4%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別業績 — ソリューション分野の状況



ソリューション分野

(流通サービス業基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発)

- 売上高および営業利益共に、大型開発案件が延期になったことで、計画値、前年値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	3,923	28.5%	4,091	95.9%	▲ 167	29.4%	4,062	96.6%	▲ 138	30.0%
売上総利益	843	21.5%	985	85.6%	▲ 141	24.1%	936	90.1%	▲ 92	23.0%
営業利益	257	6.6%	276	93.0%	▲ 19	6.8%	302	85.0%	▲ 45	7.4%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別業績 – プロダクト分野の状況



プロダクト分野

(流通サービス業向けパッケージ開発、販売)

- 売上高および営業利益共に、プロダクト販売が順調に推移し、計画値、前年値を上回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	590	4.3%	532	110.9%	58	3.8%	525	112.3%	64	3.9%
売上総利益	258	43.8%	231	111.9%	27	43.4%	233	110.6%	24	44.5%
営業利益	80	13.7%	64	124.8%	16	12.1%	70	114.8%	10	13.4%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別業績 — その他 | T 関連分野の状況



その他 | T 関連分野

(ハードウェア販売、ハードウェア及びミドルウェア保守サービス等)

- 売上高につきましては、大手特定顧客への物品販売が伸び、計画値・前年値を上回りました。
- 営業利益につきましては、物品販売比率増加により、計画値・前年値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	1,905	13.9%	1,774	107.4%	131	12.8%	1,885	101.0%	19	13.9%
売上総利益	145	7.6%	201	72.4%	▲ 55	11.3%	285	51.0%	▲ 139	15.1%
営業利益	48	2.6%	56	86.1%	▲ 7	3.2%	89	54.8%	▲ 40	4.7%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

財政状況（前期末比較）



<貸借対照表>

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

区分	2015年3月期 第2四半期末		2014年 3月期末	差 額
	金額	構成比 (%)		
流動資産	11,167	72.1	10,392	775
固定資産	4,310	27.9	4,984	▲ 673
<有形固定資産>	1,593	10.3	1,902	▲ 309
<無形固定資産>	1,369	8.8	1,559	▲ 190
<投資その他の資産>	1,348	8.7	1,522	▲ 174
資産合計	15,477	100.0	15,376	101
流動負債	5,080	32.8	5,082	▲ 1
固定負債	4,366	28.2	4,572	▲ 206
負債合計	9,446	61.0	9,654	▲ 207
純資産	6,030	39.0	5,721	309
負債・純資産 合計	15,477	100.0	15,376	101

<貸借対照表のポイント>

第2四半期連結会計期間末の各数値は以下の通りです。

①総資産

154億77百万円	1億1百万円の増加
(主な要因)	
・受取手形及び売掛金	1億57百万円減
・短期貸付金	7億円増
・工具、器具及び備品	2億40百万円減
・ソフトウェア	1億71百万円減

②負債総額

94億46百万円	2億7百万円の減少
(主な要因)	
・買掛金	1億61百万円増
・賞与引当金	1億47百万円減
・長期借入金	3億60百万円減
・退職給付に係る負債	1億66百万円増

③純資産

60億30百万円	3億9百万円の増加
(主な要因)	
・利益剰余金	3億20百万円増

キャッシュ・フローの状況



単位：百万円、百万円未満切捨て

税金等調整前四半期純利益	951
減価償却費	694
その他	▲ 2
小計	1,643
法人税等の支払額等	▲ 316
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,327
固定資産の取得による支出	▲ 351
貸付による支出	▲ 1,024
貸付金の回収による収入	323
その他	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 948
長期借入金の返済による支出	▲ 360
配当金の支払額	▲ 131
その他	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 479
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 19
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	▲ 119
現金及び現金同等物の期首残高	3,362
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	102
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,345

<キャッシュ・フロー計算書のポイント>

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は33億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

増加額・・・13億27百万円

（主な増加要因）

- ・税金等調整前四半期純利益の計上 9億51百万円
- ・減価償却費の計上 6億94百万円

（主な減少要因）

- ・法人税等の支払 3億12百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

減少額・・・9億48百万円

（主な減少要因）

- ・貸付による支出 10億24百万円
- ・固定資産の取得による支出 3億51百万円

（主な増加要因）

- ・貸付金の回収による収入 3億23百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー

減少額・・・4億79百万円

（主な減少要因）

- ・長期借入金の返済による支出 3億60百万円
- ・配当金の支払額 1億31百万円

2. 基本戦略及び直近のトピックス

事業成長と安定的な収益基盤確立の両立

売上高の成長

利益率の向上

戦略 1 特定顧客化戦略

1. 特定顧客事業の拡大
2. 新規特定顧客の開拓
3. ストックビジネスの拡大

戦略 2 グローバル戦略

1. 日系企業向け中国・アセアン地域進出の支援の拡大
2. IT運用サービスの拡大
3. 中国・アセアン地域における現地法人向けサービスの拡大

戦略 3 商品・サービスの差別化戦略

1. 製品・サービスのラインアップの拡大
2. 流通システムのクラウド化
3. グローバル展開に対応した商品化及びチャネル販売の確立

戦略 4 経営基盤の強化

1. 事業継続基盤の強化
2. 品質とプロジェクト管理の強化
3. 人材マネジメントの強化
4. 国際分業の推進

各戦略別トピックス

VINX

特定顧客化戦略

ドラッグストア

●MD基幹システム開発案件を受注

岡山県を中心に展開するドラッグストア様より、MD基幹システムの開発を受注いたしました。

スーパー

●POSシステムリプレイス案件を受注

関東を中心に展開する大手スーパーマーケット様のPOSシステムリプレイスを受注いたしました。

クレジットカードシステム

●クレジットカード関連システム開発案件を受注

大手電気通信サービスグループ様の金融・決済事業会社様よりクレジットカード関連システムの開発を受注いたしました。

グローバル戦略

大手総合小売業グループ

●カンボジアショッピングモールのITサポートを実施

カンボジア初の本格的ショッピングモール1号店のITサポートを全面的に引き受け、本年6月に無事オープンすることができました。

業務提携

●「棚割システム」業界トップクラスのITベンダーと業務提携

流通業界における、戦略的棚割ソフトウェアで、業界シェアNo.1の棚割パッケージを開発、販売するITベンダーと、本年4月に中国及びアセアン地域における販売総代理店契約の締結に向けた包括的業務提携について合意いたしました。

商品・サービスの差別化戦略

プロダクト事業

●「ANY-CUBE®+1」の販売が順調に推移

本年1月にリリースした「ANY-CUBE®+1」が大手メガネチェーンやドーム運営事業会社に採用が決定いたしました。

●「ANY-CUBE®+1 for Restaurant」のリリース

「ANY-CUBE®+1」の新たなラインアップとして、飲食業向けにOES（Order Entry System）機能を搭載した「ANY-CUBE®+1 for Restaurant」を開発し、本年10月にリリースいたしました。

3. 2015年3月期の業績予想並びに配当予想について

2015年3月期 業績予想（連結・個別）



単位：百万円、%、百万円未満切捨て

連結	通期見通し		前年対比			
	計画値	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	28,800	-	27,271	105.6%	1,528	-
売上総利益	5,820	20.2%	5,424	107.3%	395	19.9%
販売管理費	4,140	14.4%	3,901	106.1%	238	14.3%
営業利益	1,680	5.8%	1,522	110.3%	157	5.6%
経常利益	1,650	5.7%	1,509	109.3%	140	5.5%
当期純利益	980	3.4%	824	118.9%	155	3.0%

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

個別	通期見通し		前年対比			
	計画値	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	26,640	-	24,879	107.1%	1,760	-
売上総利益	5,360	20.1%	5,137	104.3%	222	20.6%
販売管理費	3,690	13.9%	3,471	106.3%	218	14.0%
営業利益	1,670	6.3%	1,666	100.2%	3	6.7%
経常利益	1,680	6.3%	1,643	102.2%	36	6.6%
当期純利益	1,030	3.9%	933	110.4%	96	3.8%

中期数値フレーム



単位：百万円、%、千万円未満切捨て

連 結	売上高		営業利益			経常利益			当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2013年3月期（実績）	10,836	118.3	80	—	0.7	132	—	1.2	59	—	0.5
2014年3月期（実績）	27,271	—	1,522	—	5.6	1,509	—	5.5	824	—	3.0
2015年3月期（計画）	28,800	105.6%	1,680	110.3%	5.8	1,650	109.3%	5.7	980	118.9%	3.4
2016年3月期（計画）	30,200	104.9%	1,790	106.5%	5.9	1,780	107.9%	5.9	1,080	110.2%	3.6
2017年3月期（計画）	31,700	105.0%	1,950	108.9%	6.2	1,930	108.4%	6.1	1,160	107.4%	3.7

単位：百万円、%、千万円未満切捨て

個 別	売上高		営業利益			経常利益			当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2013年3月期（実績）	9,274	111.7	98	—	1.1	98	—	1.1	24	—	0.3
2014年3月期（実績）	24,879	—	1,666	—	6.7	1,643	—	6.6	933	—	3.8
2015年3月期（計画）	26,640	107.1%	1,670	100.2%	6.3	1,680	102.3%	6.3	1,030	110.4%	3.9
2016年3月期（計画）	28,000	105.1%	1,800	107.8%	6.4	1,790	106.6%	6.4	1,110	107.8%	4.0
2017年3月期（計画）	29,400	105.0%	1,930	107.2%	6.6	1,920	107.2%	6.5	1,180	106.3%	4.0

（注）当社は、2013年4月1日付で株式会社ヴィクサスと合併いたしました。

そのため、2013年3月期（実績）における前年比に関しましては記載を省略しております。

当期及び次期の配当見通し



● 配当方針

当社グループは、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業及び新製品の開発に対し有効に投資してまいります。

● 配当見通し

(単位：円，1株あたり)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向(連結)
2013/3期(実績)	(※1) 1,000	(※1) 1,000	(※1) 2,000	105.8%
2014/3期(実績)	(※1,※2) 2,000	(※3) 15	—	26.1%
2015/3期(予想)	10	10	20	17.8%

※1：当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
2013/3期の前期実績及び2014/3期の中間配当金実績につきましては、株式分割前の金額を記載しております。

※2：当該株式分割を考慮した場合の2014/3期の中間配当金は10円となり、期末配当金の15円と合わせて、2014/3期における年間の1株当たり配当金は25円となります。

※3：2014/3期の期末配当金につきましては、株式分割後の金額を記載しております。
なお、金額の内訳につきましては、普通配当10円及び合併記念配当5円となります。

＜本資料取扱のご注意＞

VINX

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
e-mail : ir@vinx.co.jp